

レジメン名

S-1+DTX療法

出典 Yoshida K, et al.: J Clin Oncol. 37(15): 1296-1304, 2019

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

胃癌
進行・再発
補助療法(術後)
初発

投与減量の基準

ANC	500/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
Cr	1.2mg/dLを超える		
その他	FN Grade3以上の下痢、口腔粘膜炎、悪心・嘔吐、食欲不振、その他の非血液毒性 TS-1: 120→100→80→60(40-20mg)→50mg/日 DTX: 40→35→30mg/m ²		

投与中止の基準

ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
Cr	1.2mg/dLを超える	CLcr	30mL/min未満
T-bill	1.5mg/dLを超える	ALT,AST	100IU/Lを超える
その他	Grade2以上の下痢、口腔粘膜炎、悪心・嘔吐、食欲不振		

1クール期間

1-7クール:21日
8クール以降:42日

総クール数

11-12クール
(手術後1年間)

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ティーエスワン	80mg/m ² *1	朝・夕食後		day1-14 (1-7クール)
ドセタキセル	40mg/m ²	輸液250mL	60分	day1 (2-7クール)
ティーエスワン	80mg/m ² *1	朝・夕食後		day1-28 (8クール以降)
※1 体表面積ごとで初回基準量を決める 1.25m ² 未満: 40mg/回×2 (80mg/日 分2) 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満: 50mg/回×2 (100mg/日 分2) 1.5m ² 以上: 60mg/回×2 (120mg/日 分2)				
【CLcr60mL/min未満の場合、初回用量を以下へ減量】 1.25m ² 未満: 40mg-20mg (60mg/日 分2) 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満: 40mg/回×2 (80mg/日 分2) 1.5m ² 以上: 50mg/回×2 (100mg/日 分2)				

1日投与順 (経時的にプレドニゾン・ポストドニゾン、 溶解液まで含む)
1-7クール day1-14 ①TS-1 80mg/m ² *1 分2 朝・夕食後
2-7クール day1 ①デキサート6.6mg+生食100mL (15-30分) ②ドセタキセル40mg/m ² +輸液250mL (60分) ③生食50mL (全開) day2-3*2 デカドロン錠(4mg)2錠 分2(浮腫予防) ※2 文献ではドセタキセル投与前日から翌日に服用であるが上記で登録
8クール以降 day1-28 ①TS-1 80mg/m ² *1 分2 朝・夕食後